

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び方法
満期保有目的の債券……償却原価法(定額法)によっています。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
什器備品……定額法によっています。
- (3) 消費税等の会計処理
消費税の会計処理は、税込み方式によっています。

2. 表示方法の変更

(正味財産増減計算書関係)

前年度まで「事業費-雑費」に含めて表示していた『財団概要』の印刷製本費については、より明瞭な表示とするため、当年度より、「事業費-印刷製本費」として表示しております。この変更に伴い、「事業費-雑費」の前年度決算額は、当年度決算額との比較対象のため、「事業費-印刷製本費」に組替え掲記しております。

3. 基本財産の増減額及びその残高

基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりです。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産定期預金	2,411,747	0	0	2,411,747
投資有価証券	1,326,680,060	431,352	0	1,327,111,412
小 計	1,329,091,807	431,352	0	1,329,523,159
合 計	1,329,091,807	431,352	0	1,329,523,159

4. 基本財産の財源等の内訳

基本財産の財源等の内訳は、次のとおりです。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
基本財産定期預金	2,411,747	(2,411,747)		
投資有価証券	1,327,111,412	(1,327,111,412)		
小 計	1,329,523,159	(1,329,523,159)		
合 計	1,329,523,159	(1,329,523,159)		

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりです。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	115,500	115,500	0
合 計	115,500	115,500	0

6. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりです。

(単位:円)

科目	帳簿価額	時価	評価損益
第10回 利付国債(30年)	64,206,983	64,103,000	▲ 103,983
第109回 利付国債(20年)	199,332,666	206,860,000	7,527,334
第139回 利付国債(20年)	99,646,884	102,660,000	3,013,116
第143回 利付国債(20年)	194,183,838	199,699,500	5,515,662
第150回 利付国債(20年)	99,741,041	99,620,000	▲ 121,041
埼玉県第16回20年公募公債	80,000,000	76,520,000	▲ 3,480,000
神奈川県第27回20年公募公債(野村)	100,000,000	98,360,000	▲ 1,640,000
静岡県第24回20年公募公債	50,000,000	43,070,000	▲ 6,930,000
神奈川県第27回20年公募公債(日興)	100,000,000	98,360,000	▲ 1,640,000
第325回日本高速道路保有・債務返済機構債	100,000,000	85,860,000	▲ 14,140,000
イオンリート投資法人第5回投資法人債	40,000,000	38,336,000	▲ 1,664,000
第21回東京都住宅供給公社債	100,000,000	98,190,000	▲ 1,810,000
507回東北電力社債	100,000,000	81,040,000	▲ 18,960,000
合計	1,327,111,412	1,292,678,500	▲ 34,432,912

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりです。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息振替額	17,866,631
合計	17,866,631